

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（3月分）

留学先大学：マカオ大学

氏名：坂井穂花

三月は中間テストに追われていたり、すごく落ち込んでしまったり、初めて中国のメインランド（北京）に旅行に行ったり、ローカルのお店巡りをしたり、いろんなことがありました。まず、三月上旬に留学して初めての大事なテスト、中間テストがありました。授業によっては中間テストがないものもあるみたいですが、私が受けている授業5つすべてにおいてテストがありました。中国語の授業一つとビジネス系の授業四つを取っていて、そのうちビジネス系の授業一つは定期的に小テストがあるので慣れていたのですが、そのほかの授業は初めてだったのですごく不安でいっぱいでした。

そのせいもあってか、テスト期間中に誰とも話したくない、夜も眠れないなどの鬱のような症状に見舞われてしまいました。他の理由として、“マカオに心を許して話せる友達がない”、“ルームメイトと馴染めない”、“日本人学生とタイプが違って一緒にいても疲れてしまう”などが考えられました。留学を始めたばかりの頃から若干誰とも話したくない“と思うこともあったのですが、なんとか自分で楽しいことを見つけて紛らわしていました。しかし、こちらの生活にも慣れてきていて、楽しいと思っていたことにも新鮮さがなくなってしまい、誤魔化しきれなくなって気持ちが爆発してしまいました。この状態のまま留学が終わってしまったらどうしようという不安も出てきて、なんとか打破したいと思い、福大の国際課の方、留学経験者の先輩、留学中の先輩・同級生に相談して、実際に経験したことがある人の意見・アドバイスを受けることができ、無理をして合わない人とは関わろうとしない、自分なりの生活をする、ルームメイトとは勇気をもってきっかけとなるような会話をするなどの行動を起こすことができました。さらに、親と電話して愚痴をすべて聞いてもらうことですごくスッキリして、夜も心配せずに眠れるようになりました。今では、誰か（日本人学生の）と出かけるというよりは自分でおしゃれなカフェやパン屋さんなどを見つけて一人で出かけたり、買い物に行ったりしています。この方が自分に合っているのかなと思いました。しかし、ずっと一人というわけではなく、たまに、日本人学生と週末に海外旅行へ出かけたりしています。

三月は私にとってメインランド初となる、北京へ、万里の長城に登りに行きました。とても長く、気高くて上るのは大変でしたが、景色は抜群でした。あまり時間がなくて先まで進むことができなかつたのですが、満喫できました。中華街で食べ歩きもでき、北京ダックも食べるのができたので良かったのですが、次に行くときはある程度計画を立てていこうと思います。若干中国語を使って注文をしたりできたのですが、文で話せないのも、まだまだこれから中国語を毎日コツコツ勉強して会話力を上げていきたいと思っています。



↑万里の長城からの景色



↑北京ダック